

令和8年度 学校経営計画

令和8年4月
大田区立北糺谷小学校
校長 細井 鏡子

社会の要請 教育の果たす役割

- AI(人工知能) ○ デジタルトランスフォーメーション(DX)時代 ○人口減少・高齢化社会 ○グローバル化
- 不登校対策 ○いじめ・体罰・虐待防止対策 ○地球環境問題(SDGsの取組) ○STEAM 教育の推進
- 感染予防や大規模自然災害等の対策 ○高度な教育課程と働き方改革との両立 ○令和の日本型教育

★BANIの時代※ 予測困難な未来社会を生きぬく意欲や資質・能力の育成 (※B 脆弱性 A 不安 N 非線形性 I 不可解さ)

「東京都ビジョン(第5次)」<令和6年度～令和10年度>

- 1 自ら未来を切り拓く力の育成
- 2 誰一人取り残さないきめ細かな教育の充実
- 3 こどもたちの学びを支える教職員・学校の力の強化

<12の「基本的な方針」>

- ・確かな学力を育む教育 ・イノベーション人材を育成する教育
- ・グローバルに活躍する人材を育成する教育
- ・主体的に社会の形成に参画する態度を育む教育
- ・豊かな心を育て、生命や人権を尊重する態度を育む教育
- ・健やかな体を育て、健康で安全に生活する力を育む教育
- ・教育のインクルージョンの推進
- ・こどもたちの心身の健やかな成長に向けたきめ細かいサポートの充実
- ・家庭、社会と学校とが連携・協働する教育活動の推進
- ・優れた教員の確保・育成 ・学校における働き方改革等の推進
- ・質の高い教育を支える環境の整備

自他のウェルビーイングが実現された社会を創る担い手

「おおた教育ビジョン」<令和6年度～令和10年度>

～ 笑顔とあたたかさあふれる
未来を創り出す力を育てる ～

- ・予測困難な未来社会を創造的に生きる力を育成する
- ・世界とつながる国際都市おおたを担う人材を育成する
- ・一人一人の個性と能力を発揮するための基礎となる力を育成する
- ・学校力・教師力を向上させる
- ・自分らしくいきいきと生きるための学びを支援する
- ・学校・家庭・地域の連携・協働による地域コミュニティの核としての学校をつくる 等

【児童の実態】<成果となること>

- あいさつが上手 ○みんなのためにはたらく
- プログラミング教育やキャリア教育の積み重ね
- コミュニケーション能力、社会参画意識の向上

【さらに伸ばすために】

- ◇多様な他者への共感や思いやり
- ◇未来を創造する資質・能力等の育成
人間関係形成能力・社会形成能力 自己理解・自己管理能力
課題解決能力 キャリアプランニング能力、グローバル人材の育成
- ◇外部機関を活用した人材・教材開発の推進

【児童の実態】<課題となること>

- ・全教科等を通しての主体的な学び
- ・基礎的な知識・技能・学習の基盤となる情報活用能力
- ・基本的な生活習慣・特別支援教育・不登校対策

【課題を解決するために】

- ◇キャリア教育の推進 ◇教師の授業力の向上
- ◇専門性を生かした授業実践
→高学年 2 学年内 教科担任制(4 教科)
→中学年 学年内 教科担任制(2 教科)
- ◇主体性を育てる教科等の実践 ◇学級活動の充実
- ◇家庭学習の推進◇学校と家庭、地域・社会との一体化
- ◇個別最適な学び◇多様な学びの場の創出・居場所づくり

学校教育目標

- ◇元気な子 ◇よく考える子 ◇仲よくする子 ◇はたらく子

目指す学校像

ウェルビーイング
みんなの幸せな未来を
創造する学校

「これまで」と「今」を「これから」につなぐ
今日が楽しく 明日が待たれる学校
～行きたい学校・帰りたい家庭・住みたい地域～

合言葉は



ねむりん つきまるくん ねむりん キラッキ



- ★特別活動を要に教育活動全体を通してキャリア教育を推進し、主体的に取り組む児童を育てる
- ★外部機関を活用した教育活動、STEAM 教育の推進、個々の教師の専門性やよさを生かした授業やカリキュラム・マネジメントした授業など魅力ある教育活動を積極的にを行い、個性と可能性を伸ばす「学びの場」を創出する
- 「学びの保障」とともに「楽しさの保障」を行い、よりよい人間関係を育成する教育活動を計画的に実践していく
- 教科「おおたの未来づくり」(5・6年生「ものづくり」「地域の創生」)の教材開発を継続して実施する
- 高学年は2 学年内 教科担任制(4 教科)、中学年は学年内 教科担任制(2 教科)を実施し、授業の質の向上や、児童一人一人の学習内容の理解度・定着度の向上を図る
- 学習の基盤となる情報活用能力(情報モラルを含む)を育成する
- 開校 150 周年記念行事等を通し、学校・家庭・地域が、協働してこどもたちを育てていく本校ならではの連携の体制、コミュニティスクールの一層の充実を図る

⇒充実した教育課程と働き方改革との両立を図る

※一つ一つの項目の具体的な内容については、本校ホームページ「令和8年度 学校経営計画」に掲載しておりますので、ご覧ください。